

JAきたみらい

おひさま サタダ

2020



vol.206

3



《北見地区・大正》
融雪材散布の様子（紹介は2ページです）

特集

エスディー ジー ス

SDGsって知ってる？



玉ねぎの播種

季節の薫り



穏やかな年明けから、降雪が少ない時期が長く続き、土壌凍結も進んでいます。その後厳しい寒さと、まとまった雪が降った2月中旬、きたみらい管内で玉ねぎの播種作業が一斉に始まりました。

JAきたみらいでは、今年度4,626ヘクタールの作付けを計画し、26.8万トンの生産量を見込んでいます。

上常呂地区の穴田さんは2月14日、極早生品種から播種を開始し15日に伏せ込み作業が行われました。

播種作業は定植時期に合わせて、極早生品種、早生品種、中晩生品種の順に3月中旬まで行われる予定です。

(辻本 均)



左の写真は2月15日、上常呂地区の穴田惣一さんの育苗ハウスで撮影。上の写真は倉庫での玉ねぎの播種作業の様子。穴田さんは、今年13.2ヘクタールの玉ねぎの作付けを予定しています。

表紙紹介

融雪剤散布、順調に進む

北見地区大正の8戸の組合員で構成される大正クローラー組合（川添仙人代表）は、2月25日からクローラートラクターを使い融雪剤の散布が始まりました。同組合では約300ヘクタールの圃場に散布を予定しており、フレコンバックの融雪剤を手際よくブロードキャスターに投入し、10アール当たり30キロから40キロをまんべんなく散布していました。

同組合の川添代表は「今年は雪が少なく、昨年の半分くらいしか積もっていない。昔はスノーモービルを使って融雪剤を散布していた。機械のハイテク化が進み、融雪剤散布のスケジュールも立てやすくなった。このまま順調に作業が進んでくれると嬉しい」と話してくれました。

今年は雪が少なく作業は順調に進んでおり、3月中旬まで行つて予定です。

(辻本 均)



【写真説明】融雪剤をブロードキャスターに投入している様子

もくじ CONTENTS

特集

SDGsって知ってる？.....4

○季節の薫り.....2

○表紙紹介「融雪剤散布、順調に進む」.....2

○地域だより.....6

○ほのぼの広場.....8
・きたみらい青年部
・記念の一枚
・ブリティウーマン
・わが家のアイドル

○JAからのお知らせ.....10

○おひさまサラダクッキング.....22
「エビと春野菜のフリッター」
「サワラとハクサイのサツと煮」

エス ディー ジー ス SDGsって知ってる？

最近、SDGsという言葉を目にする機会が多くなっていると思います。SDGsとは何かご存じですか？実は、協同組合と深い関係があり、JAが取り組んでいる多くの活動にも関連しています。

SDGsとは？

「持続可能な開発目標」の略称で、2015年に国連で採択された国際社会の共通目標です。貧困や飢餓、気候変動といった人類・地球全体が直面する問題を解決し「持続可能」な世界を実現するために、17の目標を掲げ、2030年までの達成を目指して世界各国で取り組みが進められています。

2030年までの目標

Sustainable = 持続可能な
Development = 開発
Goals = 目標

SDGs 理念
“誰一人取り残さない”

SDGsの成り立ちは？

世界各国で貧富の差やエネルギー問題、気候変動などの問題が多く取り上げられていますが、これは世界が経済成長をするのに資源をふんだんに使いながら拡大してきたことで生まれた問題です。このまま続けば、経済成長は100年以内に限界を迎えるとまで言われています。そこで、国際社会共通の目標として17の目標を立て、2030年のあるべき姿を目指すための世界規模な運動になります。

SDGsと協同組合の関わりは？

協同組合の精神「一人は万人のために、万人は一人のために」とSDGsの理念「誰一人取り残さない」は非常に近い関係にあります。協同組合の原則にある「地域社会への配慮」は地域社会の持続可能な発展と謳っており、地域コミュニティと一体となっている協同組合は、共通の利益を求めて人々が民主的かつ自治的に組織する団体であり、SDGsを実現するための重要なパートナーとして位置づけられています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



上記アイコンは、地球の環境を守り、全ての人が尊厳をもって生きられる社会と誰もが豊かな暮らしを継続的に営むことができる経済を実現するための17の目標（ゴール）になります。

JAきたみらいが取り組んでいる活動にSDGsは何があるの？



農業用廃プラスチックは、回収後、再生可能なエネルギーに再利用されているため、SDGsの取り組みとなります。



園児・児童に対する食育活動は食の大切さを伝え、持続可能な消費と生産を促進しているためSDGsの取り組みとなります。

次ページ以降、該当する項目にはSDGsのアイコンを表示していますので、身近な活動がSDGsの達成に繋がっています。気に掛けながら読んでみて下さい。

2月25日、留辺蘂・瑞穂地区の花園会館にてM-Tax（井上光夫代表）の会員9人で税申告記帳会を開催しました。

同組織は、酪農家を主体とした会員12戸からなり、確定申告へ向けた活動を1月20日から週1回程度行っています。

また学習会の簿記ソフトは、ふりーすらんど農業簿記を使用し、青色決算書、各台帳の完成に向けて、一人一人がパソコンを持ち寄り取り組んでいました。

同記帳会も終盤を迎え、一番手間のかかる家畜台帳や消費税区分の整理を行い、会員間で確認し合いながら作成にあたっていました。

所得税の確定申告の期限は4月16日となっているので、井上代表は「期限までの完成を目指して頑張っています」と話してくれました。（臼井 慎吾）



▲会員の皆さんで協力して家畜台帳を作成している様子

西地域 留辺蘂 **M-Taxの記帳会開催**
～確定申告へ向け急ピッチ～



▲伊藤さんのハウスで行われているトマトの移植作業

東地域 上常呂 **赤くみずみずしいトマトを届けたい**
～トマトの移植作業始まる～

上常呂地区では、トマトの移植作業が順調に始まりました。

常川の伊藤正一さんのビニールハウスでも1月19日にポットに播種したトマトの苗の移植作業が3月1日から始まり、家族と近くの農家の応援をもらい、8人で育苗ハウスから栽培用のハウスに苗を移動する作業を行いました。

伊藤さんのハウスは16棟合計1,500坪で6月の移植分と合わせて約15,000株のトマトを植える計画です。収穫は5月15日から行い、10月20日を最終収穫日とする予定です。

伊藤さんは「お客さんから美味しいと言ってもらえるトマトを作るため、天候に負けない土づくりを目指してスマート農業も取り入れて進めたい」と意気込みを話してくれました。

上常呂トマト生産部会は4戸、作付面積101aで約85tの生産を見込んでいます。（辻本 均）



地

域

だ

よ

り



JAきたみらいフレッシュミズ置戸支部と訓子府支部は2月6日、訓子府町公民館で活動報告会と南支部設立報告会を行い、会員27人が出席しました。

両支部の活動報告の後、合併初年度の活動として日帰り研修など令和2年度の活動計画を決め、支部長に中川美恵さんを選出しました。

中川支部長は「合併初年度の支部長を任命され不安はあるが、会員が参加して良かったなと思える楽しい行事を提案していきたい」と、就任挨拶を述べました。

報告会後には訓子府町スポーツセンターへ移動し、キンボールを行い体を動かしました。会員からは「汗をかくてリフレッシュできた！」と声があがりました。

同日の歓迎会では会員19人、加入者1人が参加し、自己紹介をするなど地区へだけでなく交流を深め南支部設立へ好調なスタートを切ることができました。（森谷 弥生）

南地域 置戸・訓子府 **南支部設立へ好調なスタート**
～JAきたみらいフレッシュミズ南支部～



▲キンボールをする会員の皆さん

南地域 訓子府 **一年の締めくくり通常総会開催**
～訓子府町畑作専門部～



▲総会の様子

訓子府町畑作専門部は、2月27日にJAきたみらい訓子府地区事務所で第39回通常総会を開催し部員21人が参加しました。

例年、総会と併せて1年間各班に分かれて試験した結果を報告していましたが、新型コロナウイルスの影響から中止し、総会のための開催となりました。

冒頭、高城耕一部長が「1年間積み上げてきた試験成果を報告する場がなく大変残念ではあるが、1年に1回の総会となるので活発な意見をお願いしたい」と挨拶をしました。

総会では、令和2年度活動計画をはじめ、来年開催される40周年事業計画など議案6件を原案通り可決しました。（大石 友和）

きたみらい
青年部



農業への思い

端野地区・川向

川島 たくま 拓磨さん(32歳)

●就農したきっかけ

小さい頃から機械を動かすことに興味があり、建設関係の仕事をしていましたが、実家が農家ということもあり、農家でも機械を使う仕事が多いし、何より家業を絶やしてはいけないという思いが強くなり就農を決意しました。

●農業の魅力とは

毎年気候が異なり、思うように仕事ができないこともありますが、自分の畑の収穫が終わった時の達成感は、他の仕事では味わえない農業の魅力だと思います。

●将来の農業について

スマート農業に期待しています。一戸当たりの経営面積が増加する一方で労働力というのは確実に減少すると思います。徐々に自動操舵システムなどを導入していきたいと思っています。

●青年部活動への抱負

より多くの部員が気軽に参加できる青年部活動を目指していきたいです。

今回は青年部東支部理事の川島拓磨さんに登場いただきました。
(織田 和訓)

Pretty Woman
ウーマン



「3支部編成」役員と
会員が協力!

北見地区・常川

梶浦 ゆい 唯さん(33歳)

今回はフレッシュミズ東支部の梶浦支部長に登場いただきました。
(森谷 弥生)

◆出身、結婚に至るまでは?

出身は大空町女満別ですが、美幌町で育ちました。高校卒業後は現在開校していますが、美幌市の短期大学へ進学しました。主人とは高校の同級生で、学校祭で一緒に作業する機会があり数カ月後にお付き合いが始まりました。なので、短大時代は遠距離恋愛をしていました!

卒業と同時に結婚し、5カ月後には第1子を出産。現在は4人の子宝に恵まれ、仕事と子育て、家事の両立は大変ですが充実した毎日を送っています☆

◆自己PR

カップケーキなどお菓子を作ることが好きです!ですが今は忙しくなかなか作れていないので、仕事や子育てが落ち着いたら再開したいと思っています。

周りの方からは「しっかり者」と思われがちですが、全然そんなことはありません!自分ではダメダメだと思っています…(笑)また、静かに見られることも多いのですが、楽しいことが好きなので活動でお会いした際には気軽に声をかけて下さいね。

◆フレミズ活動のここが良い!

フレミズの学習会では、農業に関わる内容が多くとても勉強になりますし、研修会では料理講習や物作りなど普段なかなかできない事でもフレミズ活動では挑戦するきっかけができます。

また境遇が同じ仲間と会話することで気晴らしになり、参加してよかったなと思うことがフレミズ活動の素晴らしいところだと私は思います。

◆今後の抱負!

令和2年度から支部再編に伴い、3支部体制となります。支部長は次年度の本部三役へあがることとなりますが、他の役員さんや会員の皆さんと協力し、魅力ある楽しい活動づくりをしたいと思いますので宜しくお願いします!



置戸地区・幸岡

有馬 きよと 清登くん
(3歳8ヶ月)
さら 彩良ちゃん
(1歳2ヶ月)

わが家のアイドル

有馬家は毎日がデビュー戦!!

有馬家を訪れると、清登くんが「お片付け〜!」と言いながらおもちゃを並べてお出迎えしてくれました。

妹の彩良ちゃんにとっても優しいお兄ちゃんは、取材中も彩良ちゃんのサポート役に徹していました。普段はケンカもするようですが、最近は妹や自分より小さい子に優しくしたり、我慢ができるお兄ちゃんへデビューしました☆

一方、彩良ちゃんは食べたいものを伝えることができるようになったり、初めて口にしたシフォンケーキが気に入ったようで「ウマイ!」とウマイデビューをしたようです☆

普段の2人はお外が大好きで、雪遊びをしたり活発ですが、時には清登くんが絵本を読み聞かせる場面もあるようです。さすがお兄ちゃん!!

また数字を覚え始めた清登くんは、「100まで数える〜!」とパパとお風呂に入るようですが…親子でのおぼせてしまうというほっこりエピソードもいただきました♪

やんちゃで体を動かすことが大好きな清登くんと、お兄ちゃんに鍛えられてたくましい彩良ちゃんへ「元気に成長し思いやりのある優しい子になってほしい」とお母さんの芳枝さんが話してくれました。

清登くん、彩良ちゃんは有馬慎吾さん・芳枝さん夫妻のお子さんです。
(森谷 弥生)

記念の一枚



▲佐藤さんの次女陽球ちゃん(ひまり)が訓子府スキー場で滑っています(2019.2.12撮影)

スキーの楽しさを
伝えたい!

訓子府地区・高園

佐藤 はるお 晴生さん
(44歳)



子どもがスキー少年団に入ったのがきっかけで自分も本格的に始めました。少年団の指導員が同級生だったこともあり、指導員を目指し一緒に滑ろうと進められ今日に至っています。

子どもや仲間とサホロリゾート・比布・富良野に行ってみんなで滑るのが楽しいです。

スキー指導員は、4年前に合格しました。試験前は毎日3時間ほど練習し、皆さんからの温かい指導を受け、何とか一回目で合格できました。今後参加者を募り、2泊3日で二セコへ滑りに行きたいですね。また、子どもは指導すると上達も早いので、一緒に滑る時間が楽しいです。スキー人口も減っていますが、是非経験者も含め楽しいスキーを始めませんか!

(辻本 均)

INFORMATION

地域で結束、幅広い交流へ

JAきたみらい青年部・女性部・フレッシュミズ 第16回通常総代会終える

青年部 農業PRを軸に活動実施

JAきたみらい青年部は2月7日、北見農業会館で第16回通常総代会を開き、代議員45人（本人出席42人、委任状出席3人）が出席しまし



▲青年組織綱領を朗唱する代議員の皆さん

た。

開会挨拶で石原正啓部長は「令和元年度は大きな災害もなく、令和の初めの年としてはとてもよいスタートが切れたと思います。ですが昨年度は農作業事故も多くありましたので、注意を呼び掛けて欲しいです」と挨拶を行いました。

JAの齊藤常務は「青年部の皆様にはこれからの農協を引っ張っても



▶開会の挨拶を行う
石原部長



◀激励を込めて祝辞を述べる
齊藤常務



▲令和元年度の役員
（起立者左より 有馬監事・坂下監事・上杉理事・萩原理事・貝沼理事）
（着席者左より 鏡副部長・石原部長・齊藤副部長）

らいたい。また青年部事業で行われているプロモーション活動や他業種交流での成果を期待しています」とエールを送りました。

青年部・女性部・フレッシュミズでは地域での組織再編が進んでいます。新たな仲間との活動に取り組み、組織のつながりを強める後継者・担い手三組織を報告します。



▲就任挨拶を行う有馬部長、坂下副部長、上杉副部長（左から）

新役員体制		
○部長	有馬 慎吾（南）	○副部長
○代表監事	鏡 浩二（南）	○代表理事
○監事	貝沼 隼人（東支部長）	○理事
○理事	遠藤 泰斗（南支部長）	○理事
○理事	長尾 竜機（西支部長）	○理事
○理事	鉄地河原 進（東副支部長）	○理事
○理事	濱田 和晃（南副支部長）	○理事

女性部 魅力ある組織であり続けるために

JAきたみらい女性部は2月17日にセンター事務所第16回通常総代会を開き、代議員39人が出席しました。開会挨拶で河野由美子部長は「活動には多くの部員に参加して頂きました。これからも幅広い年代層の方に興味を持ってもらえるよう工夫していきたいです」と一年間の感謝と今後の展望について述べました。



▲左から、細川部長、小野副部長、中澤副部長

「役員・部員が一丸となり、より魅力ある活動を企画していきます」と抱負を述べました。



▲開会の挨拶をする
河野由美子部長

新役員体制		
○部長	細川美重子（訓子府）	○副部長
○副部長	中澤ひさ子（置戸）	○理事・監事
○理事・監事	小野 里美（北見）	○理事・監事
○理事・監事	牧野 千代（西支部長）	○理事・監事
○理事・監事	齊藤さおり（置戸支部長）	○理事・監事
○理事・監事	南 まゆみ（訓子府支部長）	○理事・監事
○理事・監事	草場 佳子（上富島支部長）	○理事・監事
○理事・監事	信田佐和子（北見支部長）	○理事・監事
○理事・監事	古屋 君江（端野支部長）	○理事・監事



▲開会の挨拶をする
仲山美知会長

新役員体制		
○会長	森 梓（南）	○副会長
○副会長	山本 理恵（西）	○理事・監事
○理事・監事	安斉 里実（東）	○理事・監事
○理事・監事	福田由佳理（西支部長）	○理事・監事
○理事・監事	中川 美恵（南支部長）	○理事・監事
○理事・監事	梶浦 唯（東支部長）	○理事・監事



▲左から、森会長、山本副会長、安斉副会長

フレッシュミズ 新たな組織体制で取り組む

JAきたみらいフレッシュミズは2月18日にセンター事務所第16回通常総代会を開き、代議員19人（本人出席18人、委任状出席1人）が出席しました。

仲山美知会長は開会挨拶で「国内農業視察研修などさまざまな活動がありました。多くの会員に参加していただきとても実りある1年となりました」と感謝を述べました。

新年度事業として会員交流研修会・日帰りの研修、そして三組織合同事業の実施が提案、承認されました。役員改選では新会長に森梓さん（南支部）、新副会長には山本理恵さん（西支部）、安斉里実さん（東支部）が選出されました。新会長の森さんが就任挨拶で「今年度から南支部が設立される3支部体制となりました。みなさんの意見を大切にしながら以上に交流を深め、参加しやすい楽し

は「令和2年度では、農業PR事業やプロモーション活動にしっかりと取り組み、多くの青年部員に参加してもらえる事業を行っていききたいです」と挨拶を述べました。

い組織作りに力を入れていきたいです」と意気込みを話しました。

INFORMATION

各種生産組織通常総会執り行う

～次年度に向け新体制へ～

玉葱振興会

きたみらい玉葱振興会は2月21日、センター事務所第18回通常総会を開き、代議員59人が出席しました。

開会挨拶で飯田裕之会長が「一大産地として収量も大事であるが、販売環境が苦しい中において品質の向上が大事になってくる。時代の流れは刻一刻と変化しており、消費者に求められる玉ねぎを生産する必要があるため、今後とも振興会に対するご協力をお願いしたい」と挨拶しました。



▲玉葱振興会通常総会の様子

議事では、令和2年度事業計画など議案5件を原案通り可決しました。役員改選では加藤英樹さんが会長として選任されました。

新役員体制(令和2年度～3年度)

○会長	加藤 英樹(北見)
○副会長	今野 雅祐(訓子府)
○監事	北川 裕一(端野)
○理事	矢萩 大寛(上常呂)
	中澤光太郎(置戸)
	飯田 和浩(西地域)
	真田 肇(置戸)
	大邑 和治(置戸)
	森谷 弘二(置戸)
	雅楽川英行(訓子府)
	前田 一真(置戸)
	西内 光(上常呂)
	西島 剛(北見)
	山内 秀之(端野)
	桜井 慎一(置戸)

※玉葱青年部選出役員については、青年部の総会で選任

馬鈴薯振興会

きたみらい馬鈴薯振興会は2月19日、センター事務所第18回通常総会を開き、代議員34人が出席しました。

開会挨拶で佐藤茂樹会長が「平成から令和に元号が変わり変革の年を迎え、きたみらい馬鈴しょの生産基盤が新たな時代に向かっていく。今後も関係機関と連携を図り、きたみらい馬鈴しょのブランド強化に努めていきたい」と挨拶しました。

議事では、令和2年度事業計画など議案5件を原案通り可決しました。役員改選では石村博樹さんが会長として選任されました。

新役員体制(令和2年度～3年度)

○会長	石村 博樹(置戸)
○副会長	加藤 貴善(端野)
○監事	黒河 潤(訓子府)
○理事	黒須 友和(北見)
	井下 徹(西地域)
	齊藤 英明(西地域)
	伊東 憲一(置戸)
	佐藤 浩基(訓子府)
	小坂 浩司(置戸)
	酒井 秀徳(上常呂)
	景政 大雄(置戸)
	斎藤 宏幸(北見)
	重富 勝敏(端野)
	谷川 純一(置戸)

麦作振興会

きたみらい麦作振興会は2月18日、端野地区事務所第18回通常総会を開き、代議員や来賓など約50人が出席しました。

事業報告では「秋小麦、春小麦ともに播種時期は好天に恵まれ、作業が順調に進んだ。5月下旬から6月上旬にかけて高温で推移したことから生育が早まり、前年よりも早く収穫作業を行うことができた。大きな気象変動に見舞われることもなく、平年を大きく上回る過去最高の収量となった」と報告しました。

議事では、令和2年度事業計画など議案4件と報告事項1件を原案通り可決しました。役員改選では田中勇さんが会長として選任されました。



▲就任挨拶をする石村会長

先端技術の積極的な活用に向け

～スマート農業推進協議会設立総会の開催～

2月18日、訓子府地区事務所できたみらいスマート農業推進協議会設立総会が開催されました。農業者の減少による農地流動化や労働力不足への対応、各種作物の生産性の向上を目的として、近年高まりをみせている先端技術であるスマート農業技術により問題解決を図り、その技術をきたみらい一円へ普及啓蒙することを目指し、会員232人で設立しました。協議会設立にあたり、設立準備委員会を立ち上げ、9人の委員のもと設立までの準備を進めてきました。

開催にあたり、設立準備委員会の荒喜文委員長が「会員間での積極的な情報交換など交流を図って頂き、スマート農業技術の高位平準化を図り、最終的には地域への普及活動へとつなげていくため、積極的な協議会運営の参加をお願いしたい」と挨拶しました。

来賓の齊藤和雄常務は「農業人口が減る中で1戸あたりの面積は拡大していく。労働力不足の解消に向けて、このような先端技術の普及は不可欠である。スマート農業を有効に活用して、生産性の向上を図り生産



8 働きがいも 経済成長も



▲挨拶をする荒会長

豆類振興会

きたみらい豆類振興会は2月20日、センター事務所第18回通常総会を開き、代議員や来賓など約30人が出席しました。



▲麦作振興会通常総会の様子

○会長	田中 勇端(野)
○副会長	渡部 剛(上常呂)
○監事	西原 勇一(訓子府)
○理事	福田 保志(北見)
	星加 幸司(相内)
	山崎 清二(温根湯)
	岩橋 幸一(置戸)
	茂住 修二(留辺蘂)
	坂下 忠(置戸)
	渡部 優也(置戸)
	井上 一味(置戸)
	山本 拓志(訓子府)
	伊藤 薫(相内)
	角田 大造(上常呂)
	岡見 博文(北見)
	間村 辰彦(端野)

○会長	石川 修(訓子府)
○副会長	山梨 健司(温根湯)
○監事	岡野 拓弥(端野)
○理事	田中 裕明(上常呂)
	篠木雄一郎(置戸)
	武田 透(留辺蘂)
	北口 裕生(相内)
	中嶋 賢(北見)



▲豆類振興会通常総会の様子

JAからの お知らせ
INFORMATION

第26回オホーツクJA女性部大会・家の光大会
JAきたみらいから67人が参加

オホーツクJA女性協議会は2月4日、5日の両日、網走湖荘にて「第26回オホーツクJA女性部大会・家の光大会」を開催し、オホーツク管内14JAから300人を超える女性部員や関係者が参加。当JA女性部からは67人が参加しました。開会にあたり、黒須倫子会長（JAきたみらい）は「オホーツクの仲間と研修を楽しみながら親睦を深めましょう」と挨拶。続いて来賓のオホーツク農協青年部協議会の桑名達也会長が祝辞を述べました。講演では冬季パラリンピックメダ



▲講演を行った狩野照美氏



▲開会挨拶をするオホーツク女性協議会の黒須倫子会長



▲組織活動体験発表を行う当JA河野由美子部長

リスト狩野亮氏の母・狩野照美氏より「25年間の時を経て、多くの出会いに育てられて」と題して自身の子育てや母としての考えについて述べました。組織活動体験発表では、当JAの河野由美子部長が魅力的な組織づくりなどについて発表しました。夜には参加者が一堂に会して懇親会が行われ、食事や会話を楽しみました。懇親会のアトラクション発表では、当JA女性部から端野支部が出演しました。山本リンダさんの「どうにもとまらない」に合わせてベリダダンスを披露。華やかな衣装で迫力のあるダンスをみせました。参加者からたくさんの手拍子や歓声、お菓子などたくさんのおひねりをいただき、会場が一つになって大いに盛り上がりました。



▲アトラクションを披露する端野支部の皆さん

研修2日目には、オホーツクJA女性協議会やJAオホーツク網走女性部が講師となり「クラフトテープのカゴ作り」を行いました。閉会式では各JA女性部から出品された作品展の表彰が行われました。当JA女性部からは趣向を凝らした7点が出展され、その中から訓子府支部の花壇の写真「繋がる仲間の輪」がフラワーハーモニ部門の優秀賞を受賞しました。



▲黒須会長より表彰される訓子府支部の細川支部長



▲優秀賞を受賞した訓子府支部の作品



▲クラフトテープのカゴ作りを行う女性部員の皆さん

学校給食に
玉ねぎ、馬鈴しょ、津軽りんごを贈る

JAきたみらいは2月6日、北見市と訓子府町、置戸町に玉ねぎ4,000kgと馬鈴しょ、スノーマーチ2,000kgを贈呈しました。

また、「JAみらいサミット」に参加したことで縁のある、青森県平川市のJA津軽みらいより、りんご8,096玉も小学校や保育園の子どもたちへ寄贈されました。当JA大坪広則専務は「昨年はほ

とんどの作物が豊作となり、今年も無事においしい玉ねぎとスノーマーチを届けることができました。子どもたちに地元の野菜を味わってほしい」と伝えました。

JA津軽みらいの村上代表理事常務も「昨年は台風や干ばつの影響により小玉傾向で苦労したが、食味は問題なくおいしいりんごを届けることができました。子どもたちにはりんご

をたくさん食べてもらいたい」と話しました。

合わせて北見地区農業振興連絡協議会（北見市、訓子府町、置戸町、JAきたみらい）が今年作製した食育教材のパンフレットや野菜のイラストが入ったポケットティッシュを子どもたちに提供。食材は2月の給食に使用されました。



①



②



③

【写真の説明】

- ①北見市での贈呈式～浅野日副市長（中央）に目録を渡す村上代表理事常務（右から2人目）、大坪専務（左から3人目）
- ②訓子府町での贈呈式～森谷副町長（中央）に目録を渡す村上代表理事常務（右から2人目）、大坪専務（左から3人目）
- ③置戸町での贈呈式～和田副町長（中央）に目録を渡す村上代表理事常務（右から2人目）、大坪専務（左から2人目）



▲子どもたちに配られたパンフレットとポケットティッシュ

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

玉ねぎの魅力を児童へ伝える



▲栽培過程の説明をする飯田会長



▲玉ねぎの違いを伝える飯田会長

2月13日に道内のJAやホクレンで組織する北海道産青果物拡販宣伝協議会の食育活動である「Greenベジフル教室」を徳島県の小学校1校で行いました。この取り組みは毎年、消費地の児童に対し生産者らが直接、野菜の魅力や素晴らしさを伝える場として開いています。

今回、きたみらい玉葱振興会の飯田裕之会長ら6人が徳島市の城東小学校を訪れ、5年生62人に対し、玉ねぎの歴史や栽培方法などを説明しました。

国産の約6割が北海道で生産されていることや玉ねぎが育っている様子などに驚きの声が上がっていました。品種の違いを確認するため、半分にカットされた黄玉ねぎと赤玉ねぎとペコロスそれぞれを手に取り観察し、食べ比べでは、加熱する時間を長くすれば甘みが増すことを体験しました。

飯田会長は児童らに「農家は安全で安心な玉ねぎを消費者に提供するために農家同士で情報を共有しながら良い作物の生産に励んでいる。みんなも農家が一つ一つ大切に育てた野菜を好き嫌いせずたくさん食べてほしい」とメッセージを送りました。

新年度に向け新たな気持ちで ～共済・信用事業合同進発式を開催～



▲がんばろう三唱をする中島職員

2月14日、共済・信用事業の新年度事業を推進する合同の進発式が北見市のホテルベルクラシックで開催されました。この進発式は目標達成記念と新年度の目標必達を誓い、昨年に引き続き2回目の開催となり、共済連・信連北見支所職員も参加し、総勢約100人の進発式となりました。

開催にあたりJAの大坪広則専務は、「共済・信用事業を取り巻く環境は依然として厳しく、地域のニーズにあった選ばれる金融店舗を目指し、目標達成に向け邁進してほしい」と挨拶をしました。

その後、LA、スマイルサポーター、貯金窓口、融資担当者が決意表明を読み上げ、融資代表の加藤正人職員は、「利用者満足度の向上と顧客基盤のよりいっそうの強化をはかり、地域の目線に立った相談窓口として組合員をはじめ地域住民との深い絆づくりに努めます」と述べました。

がんばろう三唱では、訓子府支店の中島健介職員が「再び目標達成に向け邁進し、来年もまたみんなでこの場所で会おう」と力強く誓いました。

農作業事故「ゼロ」運動 標語コンクールの受賞作品が決定！

毎年約80件発生し続けている農作業事故を減少させるため、当JAでは令和元年度より農作業事故「ゼロ」運動に取り組んでいます。今回農作業事故「ゼロ」運動の一環として、組合員の方の安全意識の向上や効果的な推進を図るために標語コンクールを実施していましたが、この度受賞作品が決定しました。

応募期間：令和元年11月8日～12月26日
選考基準：農作業安全を意識できる内容になっているか
①「農作業事故」への注意喚起 ②「農作業安全」への意識向上
応募人数38名、標語数57作品から選出しました（規定文字数30字を超えた作品も含む）

【最優秀賞】

「安全に 作業してこそ きたみらい 安全に 作業するから 我がみらい」
小山田 英樹（訓子府）

～作品のポイント～

きたみらい全体に作業の安全を促しつつ、1人1人が気を付けることによって各家庭のみらいを事故なく安全に築いていこう！という「みらい」言葉を使い、簡潔に表しました。

【優秀賞】

「動くよ～ その一声で 作業開始！」 須河 孝子（訓子府）

～作品のポイント～

息子がピッカーやタッパー作業の時いいいます。機械のゴミ取りなどしている時もすぐやめられます。

【佳作特別賞】

「作業事故 尊い命 スペアなし」 森下 智崇（訓子府）

【佳作賞】

「あと少し 焦る気持ちが 事故を生む」 荻野 清彦（北 見）
「いのちより だいじなものなど あるものか」 黒河 幸恵（訓子府）
「おいしいね！たのしいね！ 安全作業で豊かな実り」 安 まりこ（置 戸）

受賞者には、賞状と商品券が贈呈され、第17回通常総代会で最優秀賞・優秀賞受賞者の表彰を行います。

また、最優秀作品はポスター、優秀作品はシールとして組合員全戸へ配布致します。自宅や倉庫、トラクター内などに掲示をして安全意識の向上や事故防止に向けてご活用ください。



▲52人が出席して行われた北見地区懇談会

2月10日と12日から14日までの4日間、8会場においてJA地区別懇談会が行われ、組合員と家族のみなさん383人が出席しました。

地域運営委員長の進行により、令和2年度の事業基本方針や部門別経営計画などを説明した後、出席した女性部やフレッシュミズ、青年部からも数多くの活発な意見と質問を頂きました。

なお、懇談会で出された意見・要望などについては後日「Q&A」にてお知らせ致します。

冬期地区別懇談会終える 8会場に383人出席

地区毎の出席状況	地区名	組合員戸数	出席人数	出席戸数	出席率
	温根湯	64	28	22	34.4%
	留辺蘂	33	21	20	60.6%
	置 戸	81	52	37	45.7%
	訓子府	271	81	76	28.0%
	相 内	71	38	31	43.7%
	上常呂	99	39	36	36.4%
	北 見	156	52	48	30.8%
	端 野	182	72	67	36.8%
	合 計	957	383	337	35.2%

第1回 理事会報告

2月20日、午前9時30分より第1回定例理事会が開催され、報告事項10件、決議事項10件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

①令和元年度内部監査業務活動報告について

②組合員状況報告について

③令和元年度資産査定結果について

④地区別懇談会の実施報告について

⑤令和2年度理事に対するクミカン貸越極度額の設定に係る報告について

⑥反社会的勢力等との取引排除にかかる対応状況について

⑦疑わしい取引の届出状況について

⑧令和2年度信用評価基準による階層区分の設定及び指導区分の変更並びに対策農家選定について

⑨R元年産共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について

⑩理事からの販売品買取に係る報告について

【決議事項】

①出資減口について

②固定資産の取得について

③令和2年度借入金の最高限度について

④コンプライアンス・マニュアルの改訂について

⑤令和2年度コンプライアンス・プログラムの制定について

⑥令和2年度余裕金の運用について

⑦農作業事故「ゼロ」運動 標語コンクールの受賞作品（案）について

⑧令和元年度農産物取引に伴う理事との買取品に係る取扱基準の設定について

⑨令和元年度事業報告（含む事業報告附属書）及び計算書類（剰余金処分案を除く）について

⑩令和元年度剰余金処分（案）について

営業時間の変更のお知らせ

令和2年4月1日(水)～10月31日(土)

センター・地区事務所

	営業時間			
	平日	土曜日	日曜日	祝祭日
事務所	8:40～17:00	8:40～12:00※	休み	休み
金融窓口	9:00～15:00	休み		
(ATM)	9:00～18:00	9:00～14:00		
共済窓口業務	9:00～15:00	休み		

※事務所は第2・第4土曜日休業

資材店舗

北見	8:40～17:00	8:40～12:00	休み	休み
温根湯				
端野				
置戸		8:40～12:00※		
生産資材拠点センター		8:40～12:00	休み※	

※置戸店舗は第2・第4土曜日休業

※生産資材拠点センターは4/21～9/30まで次のとおり(日)8:40～12:00、ゴールデンウィークは別途対応

給油所

各給油所	8:00～19:00	8:00～19:00	8:00～18:00※	8:00～18:00
------	------------	------------	-------------	------------

※温根湯・留辺蘂・上常呂給油所は日曜日休業

整備工場

訓子府	8:40～17:00	8:40～12:00	休み	休み
端野				

JAと農業

監修＝JCA (日本協同組合連携機構)

JAが進める「米の消費拡大」

日本人の米の消費量は減少傾向にあります。単身世帯や共働き世帯が増える中で、中食・外食業者等が求めるいわゆる業務用米の需要は増加傾向にあります。JAグループでは、こうした需要への対応を生産者と一体となって進めており、例えば回転寿司チェーン向けには適度な粘りやほぐれやすさを持つ品種、加工米飯メーカー向けには大粒で粘りが少ない品種を選定し、契約栽培に取り組んでいます。近年では国外の需要にも目を向け、輸出の具体化に向けた取り組みを強化しています。

一方、消費者の関心を高めることにも力を入れており、全国レベルでは全農がウェブサイト「NO RICE NO LIFE PROJECT」、全中がウェブサイト「とれたて大百科」を運営しており、米の魅力を総合的に発信しています。また、日本の食卓と豊かな国土を支えてきた稲作農業を学ぶ機会として、次代を担う子どもを対象とする「バケツ稲づくりセット」の配布、「[こはん・お米とわたし]作文・図画コンクール」などにも取り組んでいます。

【米】(こめ)

日本の農業産出額(2017年度)は9兆3787億円。そのうち、米は1兆7456億円です。主食用米の収穫量は730万6000㌦。米の1人当たり年間消費量は、ピークの1962年度の118.3㌔から一貫して減少傾向で推移し、2017年度は54.2㌔となりました。業務用米の需要拡大等は見られるものの、主食用米のトータルでの需要量は毎年8万トン程度のペースで減少が続いています。こうした状況の中で、飼料用米や米粉用米など主食用米以外の米に取り組む動きが広がっています。

米の年間1人当たり消費量の推移

(kg(精米))

120 118.3 105.8 93.1 86.2 77.8 73.4 69.9 67.3 63.6 61.0 57.8 54.4

1961 66 71 76 81 86 91 96 2001 06 11 2016 (年)

農水省資料より作成 注:1人1年当たり供給純食料の値である。

子ども向け「バケツ稲づくりセット」の取り組み

ウェブサイトで情報発信

おにぎりを食べてダイエットする方法などを全農のウェブサイトで発信しています。

平成元年(1989)年より始めた「バケツ稲づくりセット」は延べ1000万人を超える子どもたちに配布しました。

耕そう、大地と地域の未来。

お得な！車検割引き！

期間：令和3年1月31日までのご予約で！

JAで購入した軽トラなら最大14,000円割引

①車検利用特典

JA車検を利用頂いた方に、もれなく燃料給油券を進呈

当JA給油所で使える 1,000円分進呈

イメージ きたみらい給油所 燃料給油券 1,000円分

②早期予約割引

入庫予定日の2ヶ月以上前にご予約を頂くと

車検料金 1,000円割引(税込)

③JA共済セット割引

当JAの自賠責共済と自動車共済をセット加入されてるお車は

車検料金 2,000円割引(税込)

④新規利用割引

JA車検を初めて利用(新規入庫)されるお車は

車検料金 3,000円割引(税込)

⑤JA購入割引

当JAから車を購入後の第1回目の車検を利用されると

車検料金 3,000円割引(税込)

⑥営農用軽トラ割引(正組合員限定)

当JAの組合員様の軽トラック・軽バン(40㌔バ-)の車検を

車検料金 5,000円割引(税込)

●キャンペーン対象は、軽自動車から大型車両(大型特殊含む)の車検受検車が対象となります。

●二輪自動車(オートバイ)および大型特殊車両については「①車検利用特典の対象(②～⑤は対象外)」とさせていただきますので予めご了承願います。

●詳細については、整備工場スタッフにお尋ね下さい。

お問い合わせは・・・ 農機自動車グループ

JAきたみらい車輛整備工場

〒099-1436 常呂郡訓子府町大町103番地 Tel 0157-47-4820 Fax 0157-47-3411

あなたの愛車を大切に、安心して長くお乗りいただくために！

お問い合わせは 24-2145 生活相談員まで

相談員だより ◆春号 第13号◆

◆高血圧◆ ～生活習慣病を予防しよう①～

☆高血圧とはどんな病気？

私たちの血圧は体を動かすなどのちょっとしたことで上昇します。こうした一時的な上昇は高血圧とはいきません。高血圧とは安静状態で血圧が慢性的に正常値よりも高い状態にあることです。

高血圧になると血管に常に負担がかかり、血管の内壁が傷つき、硬くなり動脈硬化を起こしやすくなってしまいます。

☆高血圧を放置していると？

高血圧は自覚症状がほとんどなく、健診などで指摘されても、放置してしまう人が少なくありません。そのまま放置していると、動脈硬化を促進し、脳卒中や心疾患などの重大な病気に繋がります。とりわけ、脳卒中は高血圧の影響が大きいとされています。

☆高血圧の予防と改善

・減塩を心がけミネラル類を摂るようにしましょう。

・青魚や野菜、果物を摂るようにしましょう。

・節酒を心がけましょう。

・ストレスを溜めこまないようにしましょう。

・タバコの本数を減らしましょう。

・ウォーキングなど適度な運動をするようにしましょう。

※ただし自己流でいきなり始めることは危険です。医師に相談しましょう。

まずは食生活や生活習慣を見直すところから始めてみませんか？

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B

出題・イラスト：酒井栄子



2月号まちがいさがしの当選者

2月号のまちがいさがしの答えは「1、5、6、11、12」でした。正解者43名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。

- ()内は地区名
- ・戸田富美子さま (北見) ・吉田 秀子さま (上常呂)
 - ・井上 貴翔さま (端野) ・川島 由愛さま (端野)
 - ・坂下 萌彩さま (留辺蘂) ・大武 麦さま (相内)
 - ・長尾ひとみさま (温根湯) ・中川 優月さま (置戸)
 - ・河合 美麗さま (訓子府) ・森下幸乃助さま (訓子府)

以上の方々には、JAきたみらいの「玉ねぎと牛すじのカレー」2箱をプレゼント致します。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、JAきたみらいの「玉葱の塩だれ」と「芳醇玉葱醤油」をプレゼント致します。

兄 第3人で協力しながら考えました。ひな人形を飾って、もうこんな季節かと、時の流れのはやさを実感しています。(訓子府地区 濱野 由子さん)

まちがいさがし、どうだったでしょうか?楽しんでいただけたら、嬉しいです。今年は東京オリンピックの年になりました。時代が流れるのははやいですね。

最 近、マスクが売り切れですので、牛舎で使って汚れたマスク、今までは捨てていましたが、洗って使っています。(留辺蘂地区 今部 幸江さん)

新型コロナウイルスの影響でマスクは品不足のようですね。予防のためにもマスクは大事に使いましょう!

読者の声

今 の所、雪が少なく暖かいです。夏も含め今後のことが心配です。(置戸地区 石村 京子さん)

雪は平年より少なく、暖かい気候が続いています。今後の天気の変化には気をつけましょう。

今 年も病気もケガもなく、皆で仕事が出来ますように。今年もめずらしい野菜に挑戦しようと思います。(訓子府地区 諸橋 陽子さん)

昨年は農作業事故が多い年でした。農作業事故「ゼロ」運動が始まっています。安全確認を忘れずに!どんな野菜に挑戦したのか、収穫できたら教えてください!



パセリ

～栄養価の高い身近なハーブ～

パセリのいろいろ

- パセリ**
葉が細かく縮れていてよくカールしている。「縮葉種」「カーリーパセリ」などと呼ばれる。日本では単にパセリといえば一般的にはこのタイプの特有の清涼感ある香りと風味が強く、少量でも存在感がある。
- イタリアンパセリ**
葉が縮れていない「平葉種」のタイプのミツバのような形で切り込みが深く、葉先がシャープ。香りが優しく、根やかで苦味は穏やかな。癖が少なく、使いやすい。

パセリの力

- 脳殺的な存在だが栄養が豊富
- 食べてほしい優秀な野菜!
- カルシウム**
高血圧予防
骨の健康
- ビタミンC**
免疫力向上
風邪予防
- ビタミンE**
抗酸化作用
肌の健康
- ビタミンK**
血液凝固
止血作用
- ビタミンB1**
エネルギー代謝
疲労回復
- ビタミンB6**
たんぱく質代謝
神経伝達
- ビタミンB12**
赤血球生成
貧血予防
- ビタミンD**
カルシウム吸収
骨の健康
- ビタミンA**
視力向上
目の健康
- ビタミンP**
血管強化
動脈硬化予防
- ビタミンM**
肝臓機能
アルコール代謝
- ビタミンU**
胃粘膜保護
胃酸分泌抑制
- ビタミンV**
細胞再生
創傷治癒
- ビタミンW**
皮膚健康
乾燥予防
- ビタミンX**
免疫調節
アレルギー抑制
- ビタミンY**
抗がん作用
がん予防
- ビタミンZ**
抗炎症作用
炎症抑制
- ビタミンAA**
視力向上
目の健康
- ビタミンBB**
エネルギー代謝
疲労回復
- ビタミンCC**
免疫力向上
風邪予防
- ビタミンDD**
カルシウム吸収
骨の健康
- ビタミンEE**
抗酸化作用
肌の健康
- ビタミンFF**
血液凝固
止血作用
- ビタミンGG**
たんぱく質代謝
神経伝達
- ビタミンHH**
エネルギー代謝
疲労回復
- ビタミンII**
細胞再生
創傷治癒
- ビタミンJJ**
皮膚健康
乾燥予防
- ビタミンKK**
免疫調節
アレルギー抑制
- ビタミンLL**
抗がん作用
がん予防
- ビタミンMM**
抗炎症作用
炎症抑制

楽しみ方・食べ方のコツ

- 料理の彩り・風味付けとして
- みじん切り
みじん切りをマヨネーズ、ドレッシング、お酢などに混ぜる
- みじん切りをクリームチーズ、バター、オリーブオイルにたっぷり混ぜる
- 料理の下味や香り付け
ブロッコリーなどにして料理の際の香り付け、肉や魚のにおい消しにも
- フライの衣に混ぜる
- パセリの天ぷら
ライスにたっぷり混ぜて

パセリのヒミツ

- 和名:オランダゼリ(和蘭芹) オランダミツバ
漢名:香芹
- 歴史
古代エジプトや古代ギリシャで食用に
- 18世紀初めオランダから日本へ伝来。『大和本草』(1709年)では「芹」の項目で「紅毛芹(オランダゼリ)」と「根は半の跡に似て黄色い」と記されている。パセリの栽培は明治から大正時代にかけて本格的に栽培されるようになった。
- 薬用や歯磨き用としても使われていた

見分け方

- 葉が密集して全体はふんわり膨らみ、葉の縮れが細かい
- 葉先まで濃く鮮やかな緑色でつやと張りがある
- 鮮度が落ちると食感が硬く、苦味が強い傾向
- 鮮度×黄色く変色している乾燥している
- 切り口がみずみずしい(黒ずんでいない)

保存方法

- 冷蔵保存**
冷蔵庫の野菜室
水を入れたガラスに茎ごと挿してポリ袋をかぶせて輪ゴムで固定。水を小まめに取り替え、1〜2週間程度を目安に食べ切る
- 冷凍保存**
冷凍庫
洗って水気を拭き、茎と葉を分ける。冷凍用保存袋に入れ、空気を抜いて密封
- 乾燥保存**
ドライパセリ
新鮮なうちに葉を摘み取り、耐熱皿にペーパータオルを敷いて広げ、電子レンジ600Wで3〜5分ほどかけて乾燥(みじん切りにしてからでもOK)。粗熱を取り、手でもんで細かくして保存袋や瓶に
- 湿らせたペーパータオルで葉全体を包んで保存袋に入れてもOK
- みじん切りにしておけばすぐ使える!
- 3〜4週間ほどの長期保存可能な解凍せずにそのまま使える
- サラダやパスタ、スープなどの彩りや風味付けに、揚げ物の衣に混ぜるなどの活用方法も

おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥

エビと春野菜のフリッター



◆ 材料 (2人分) ◆

エビ ……………2尾	ソース
フキのとう ……1本	マヨネーズ…………大さじ2
タラの芽 ……2本	レモン汁…………小さじ1
オニオン	粉さんしょう…小さじ1/2
スライス ……適宜	フリッター粉
ミニトマト ……2個	小麦粉…………3/4カップ
サラダ油 ……適宜	炭酸水…………3/4カップ

◆ 作り方 ◆

- ① フリッター粉とソースの材料をそれぞれよく混ぜ合わせておく。
- ② エビ、半分に切ったフキのとう、タラの芽をフリッター粉にくぐらせ、180度に熱したサラダ油で2〜3分揚げる。
- ③ 皿に土台としてオニオンスライスを置き、②を盛り付け、ミニトマトをあしらひ、容器に入れたソースを添えて出来上がり。

アドバイス

炭酸水の代わりにビールを使ってもOK。
冷めてもカリカリとなる。

サワラとハクサイのサッと煮



◆ 材料 (2人分) ◆

サワラ…2切れ (30g)	合わせだし
ハクサイ(芯の部分)…1/8個	かつおだし…………3カップ
スルメイカ ……適宜	みりん…………大さじ2
ヒラタケ…1/4パック	酒…………大さじ2
スナップエンドウ…2個	薄口しょうゆ…大さじ1
ショウガ薄切り…2枚	塩…………小さじ1/2

◆ 作り方 ◆

- ① 鍋に合わせだしを入れて沸かし、ハクサイ、切ったスルメイカ、ショウガを入れ、中火で5分ほど煮る。
- ② 塩をして1時間ほど置いたサワラ、ヒラタケ、スナップエンドウを鍋に加え、5分ほど煮る。
- ③ 鍋の火を消し30分程度味を含ませ、ハクサイは半分程度に切り、他の食材と器に盛る。再び鍋を火にかけ、残っているだしを熱くする。だしを掛けて出来上がり。

※献立を監修した人※ 茨城県笠間市にある「天晴(旧キッチン晴人)」オーナーシェフ 永井 智一(ながいともかず)

編集後記

- ・雪がまったく降らなかった正月から一変して、冬らしい景色となってきたきたみらい管内では、玉葱の播種作業が終盤を迎えている頃かと思ひます。
- ・その一方、世界各国で猛威を振るっている新型コロナウイルスが日本各地でも広がりを見せており、感染を防ぐには「手洗い」「うがい」「消毒」が重要となります。農作業の始まりは1年でも大事な時期になり、1年の出来を大きく左右します。予防をしっかりと行い、令和2年も素晴らしい出来秋を迎えましょう。(大石 友和)

JAきたみらい概要

(令和2年2月13日現在)

- ・組合員数(正) 1,638人
- ・組合員数(准) 6,252人
- ・組合員戸数(正) 955戸
- ・貯金 111,537百万円
- ・貸出金 10,558百万円
- ・出資金 4,813百万円